

オンライン研修/指導の導入支援ガイダンス ～オンラインでの人づくり～

- AOTS国庫補助事業制度のご紹介 -

一般財団法人 海外産業人材育成協会(AOTS)

The **A**ssociation for **O**verseas **T**echnical Cooperation and **S**ustainable Partnerships(AOTS)

2022年 5・8・9・10月開催

1. イントロダクション

団体概要

団体名	一般財団法人 海外産業人材育成協会(AOTS)
所在地	東京都足立区千住東1-30-1
設立	1959年8月10日
基本財産	7億円
職員数	約160名 ※2020年8月現在
国内拠点	北千住事務所、東京研修センター、関西研修センター
海外拠点	バンコク、ジャカルタ、ニューデリー
事業内容	主に開発途上国の産業人材を対象とする研修及び専門家派遣の実施

ミッション

人材育成を通じ、「共に生き、共に成長する」世界の実現を図る
“Live in Harmony Together, Grow Together”

事業規模	約78億円(2022年度予算額)
	受入研修 148コース 約2,700人
	海外研修 300コース 約14,000人
	寄附講座 24講座
	専門家派遣 約190人
	その他、インターンシップ等
	<small>(※)受入研修及び専門家派遣におけるオンラインによる指導・研修のコース数・人数は海外研修に含む</small>
実績人数	2021年度までの累計
	受入研修 200,598人
	海外研修 230,825人
	寄附講座 22,821人
	専門家派遣 10,189人
	インターンシップ 1,317人

AOTSの人材育成スキーム

■ 技術研修

- ・現地のコア人材向け
- ・AOTSでの日本語学習 + 会社独自の**OJT**(最長1年間)
- ・国庫補助率: 1/3、1/2、2/3(企業規模等により異なる)

■ 管理研修

- ・中間管理職～経営者層向け
- ・AOTSでのテーマ別研修 + 会社独自の**OJTも可**(最長120日間)
- ・国庫補助率: 1/3、1/2、2/3(企業規模等により異なる)

海外子会社等

現地社員を招聘

日本本社等

講師・専門家を派遣
現地大学に講座開設

■ 海外研修

- ・2～30日間
- ・**講義**形式(演習・実技も可)
- ・国庫補助率: 1/2 or 2/3

■ 専門家派遣

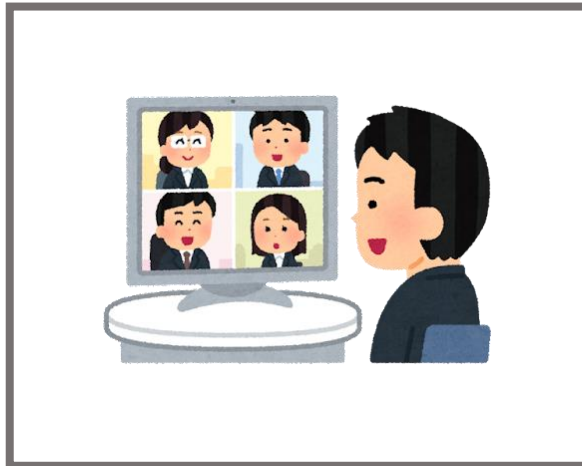
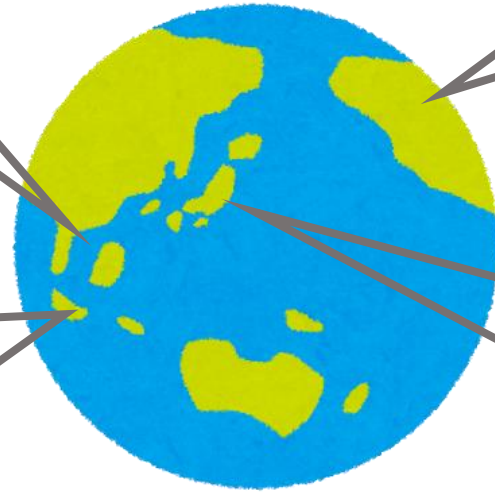
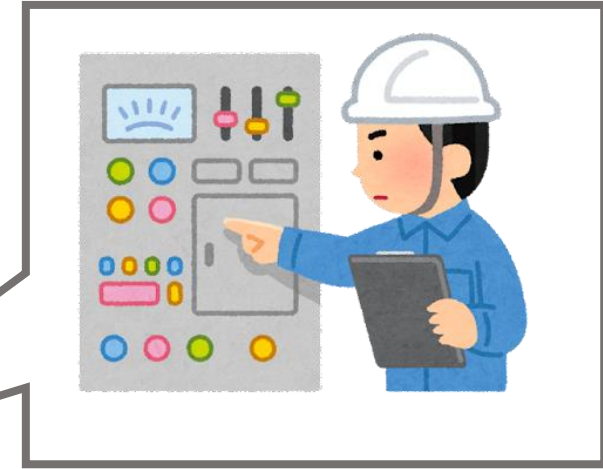
- ・1～12ヶ月間
- ・**現場でのOJT**
- ・国庫補助率: 1/3、1/2、2/3(企業規模等により異なる)

■ 寄附講座

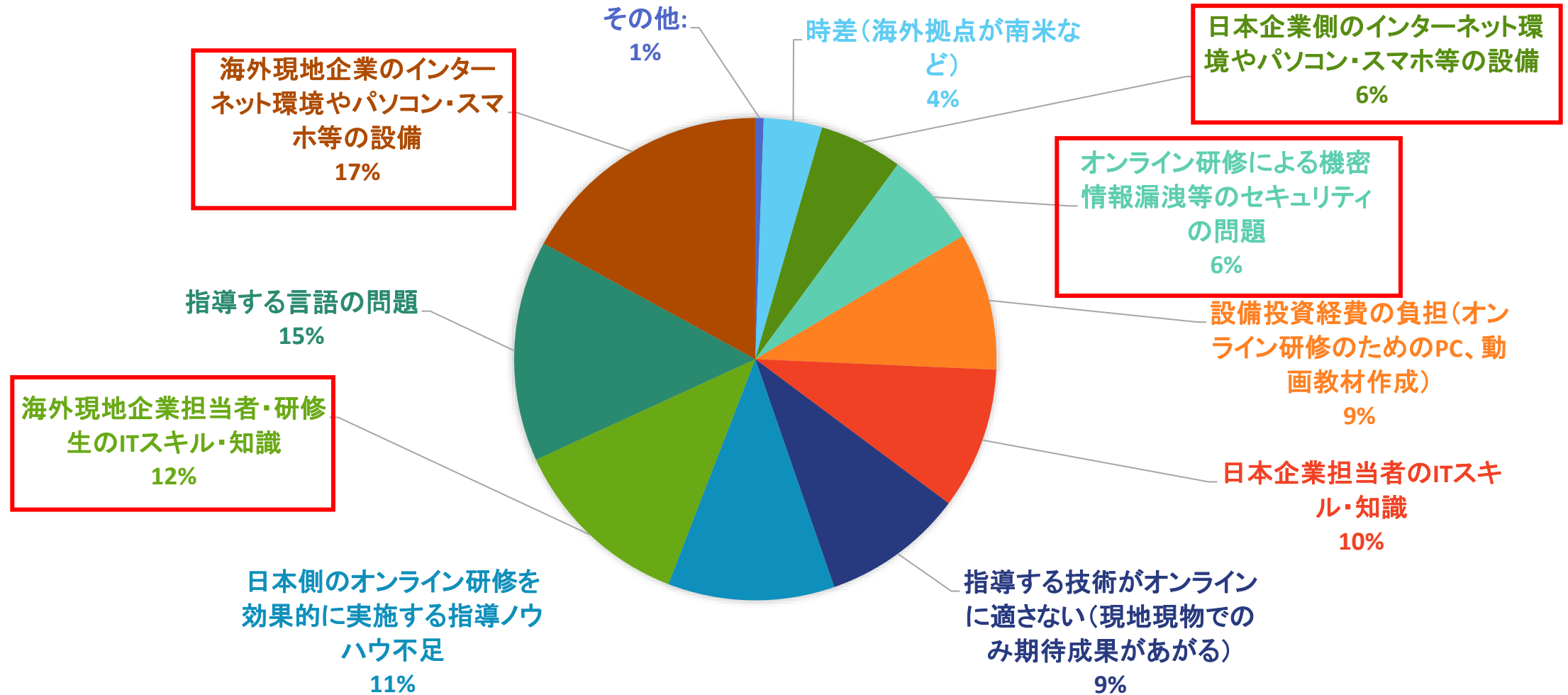
- ・**優秀な人材(高度人材)の確保**
- ・インターン受入も可
- ・大学とのネットワーク強化
- ・国庫補助率: 1/2 or 2/3

オンラインによる遠隔での実施も可能

オンラインによる研修も補助対象となり得ます



遠隔研修・指導実施においてどんな課題をお持ちですか？



2. 遠隔化ツール、サービスのご紹介 および特別講演

遠隔化支援ガイダンス ご協力企業様・特別講演のご紹介

ご登壇順に記載

第1回 (2022.5.18-19)

遠隔化ツール

株式会社 NTTドコモ 様

「AVATOUR」体験会
(360度立体空間映像)

第2回 (2022.8.3)

遠隔化ツール

株式会社 アウトソーシングテクノロジー 様

「Vuzix」(スマートグラス)
「Frontline」(ワークフローシステム)

第3回 (2022.9.6)

遠隔化手法

株式会社 大塚商会
エデュケーションセンター 様

「オンラインファシリテーション
の進め方」

第4回 (2022.9.13)

遠隔化ツール

株式会社 プロシーズ 様

「LearningWare」
(eラーニング教材/学習管理システム)

第5回 (2022.9.14)

特別講演

野中 帝二 様
(トリニティプログラム代表
中小企業診断士、ITコーディネーター)

「デジタル技術を用いた
技術移転の進め方と留意点」

第6回 (2022.10.12)

特別講演

クマール ラトネッシュ 様
(アイティップス株式会社
代表取締役)

「AOTSの補助事業を活用した
オンライン海外研修の実施」

3. AOTS制度のご紹介

AOTSにまずご相談ください！

(例)海外現地法人社員に遠隔支援ツールを活用して
設備点検・安全確認の研修を実施したい場合

計画/申請

- 研修計画の作成、対象者の選定、**通信環境の確認**
- **コンサルタント**へリモート化に向けた事前相談(あくまで相談ベース)
- リモート研修のためのツール(遠隔支援ツール等)の選定
- その他のコンテンツ(テキスト、理解度テスト等)作成の可否検討

審査承認

審査承認前の費用は原則補助対象外ですが、遠隔指導導入に係るコンサルティング費用等については、**AOTSからコンサルティング企業に業務発注することで、実質的に補助金適用可能**です！
※補助率は2/3

準備

- **コンサルタント**と直接契約を締結し、研修計画の詳細作り込み
- **遠隔化支援ツール**で工場のどの場所を撮影するのか事前確認
- 現地法人社員の理解度を確認するためのテストを作成
- リモート研修実施のための**遠隔化支援ツール**の手配
- 対象者の確定

実施

- **遠隔化支援ツール**を用いて現地法人社員へ**リアルタイムで設備点検・安全確認の研修の実施**
- 設備点検・安全確認の知識・技術についての理解度テストの実施
- 受講後に受講成績、アンケートなどで分析し、フィードバック

研修/指導を遠隔化した際の補助対象経費と要件

補助対象経費	要件 ※1	対象となるものの例 ※2
<p>機材調達・環境等整備費</p>	<p>・遠隔指導/研修上必要なツール整備のための費用が対象となる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材(スマートグラス/VRゴーグル、ウェアラブルカメラ、Wi-Fiルーター等)のレンタル費・リース料(最低契約期間まで) ・資機材の購入費(レンタル不可または購入の方がレンタルよりも安価の場合に限る。固定資産の取得にあたる購入については、原則1資機材あたり本体価格50万円未満まで) ・ソフトウェアやシステム(学習管理システム、作業分析ツール、eラーニングシステム、動画/VR配信プラットフォーム、Web会議システム、グループウェア、ビジネスチャット、自動翻訳ツール、セキュリティ関連システム、サーバー使用料、LAN敷設工事費等)のサブスクリプション費及び初期費用 ・ソフトウェアやシステムの購入費(サブスク不可または購入の方が安価の場合に限る。固定資産の取得にあたる購入については、原則1契約あたり本体価格50万円未満まで) ・通信費(ネットワーク回線利用料、クラウドサービス利用料等) ・ツールのサポート(問合せ対応)費及び保守費(サーバー管理費、ドメイン管理費)
<p>遠隔指導導入支援費</p>	<p>・遠隔指導/研修実施に向けたコンサルティングサービス利用料が対象となる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔指導/研修の導入方法等のコンサルティング費用(遠隔での実施効果が見込める指導や研修内容・手法・計画の提案や積算等) ・最適なツール紹介等のコンサルティング費用(技術指導、ツール導入支援等) ・指導/研修の効率を上げるための方策に関するコンサルティング費用(教材作成アドバイス等) ・コンサルティング実施にあたり必要となる業務委託費・外注費・宿泊費・交通費

※1 AOTSに認められた範囲に限り補助対象となりますので、事前にAOTSに相談してください。

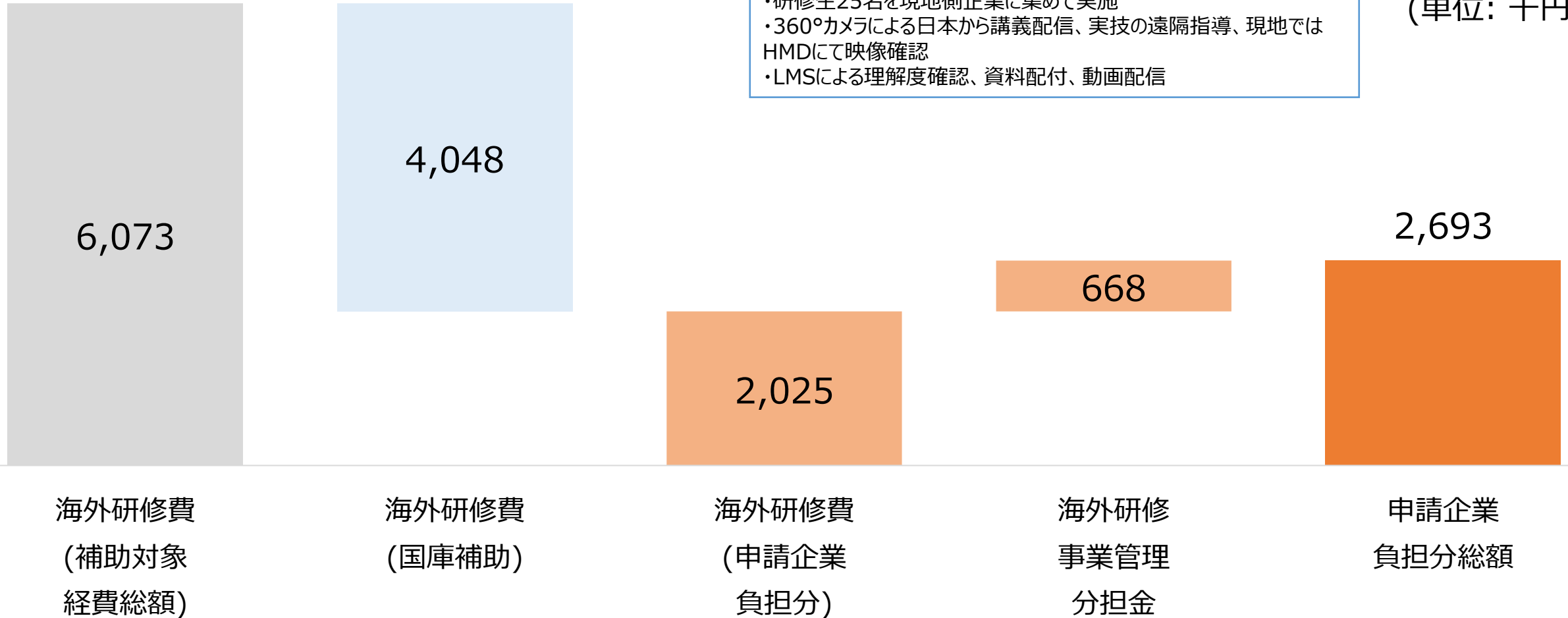
※2 ここに挙げたものの他に対象となるか否か不明なツール・サービス等がある場合は個別にご相談ください。

オンライン研修 試算例（中小企業）

【試算条件】

- ・中小企業の事例(補助率2/3)
- ・研修実施国はインド
- ・講師1名
- ・日本国内通訳1名
- ・12日間の研修(1日あたり4時間、日には連続)
- ・研修生25名を現地側企業に集めて実施
- ・360°カメラによる日本から講義配信、実技の遠隔指導、現地ではHMDにて映像確認
- ・LMSによる理解度確認、資料配信、動画配信

(単位: 千円)



◆ AOTS団体運営経費に充てるための任意のご負担へのご協力を別途お願いしています。

オンラインガイダンス アーカイブのご案内

ガイダンスのアーカイブ動画をAOTS HPからご覧いただけます。

※2022年度に実施する計6回のうち、
ウェビナー形式かつ配信可能な回を掲載しています。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/online-guidance/2022/>



ガイダンスに関するお問い合わせ、個別のご相談はこちらから

海外研修(案件募集型) 専門家派遣、技術研修

研修・派遣業務グループ

TEL : 03-3888-8221

MAIL : kigyo-inquiry-az@aots.jp



寄附講座

寄附講座グループ

TEL : 03-3888-8238

MAIL : indus-acad-collab-pg@aots.jp



參考資料

例えばこんな遠隔化に補助金が適用される可能性があります

従来

製造も品質管理も現場で覚えるものでしょう。どうやって遠隔化できるのか。



コンサルティング企業による遠隔化支援

まずは課題の見える化から始めましょうか。

現地社員にスマートグラスを装着させて、日本から現地社員が今何を見ているか確認しながら指導すると良いですよ。

作業分析ツール使うとムダの見える化ができるので良いですよ。



Point

- ・従来は、実際の現場で製品を作らせてみながら/検査をさせてみながら実践的に指導。
- ・これまで現場で覚えるものだと思っていた技術をどうやって遠隔化すれば良いか検討もつかない。
- ・遠隔化を実現するために有用なツール・サービスの紹介や計画の立案、積算業務にかかるコンサル費用や、打合せのためのコンサルの宿泊費・交通費が補助対象。(遠隔指導導入支援費)

例えばこんな遠隔化に補助金が適用される可能性があります

従来

現地で売れる新商品を
考えてみましょう。



Point

- ・従来は対面での新商品開発会議に参画させて開発フローから学ばせていた。
- ・会議であればWeb会議システムで代替可能。開発業務フローも講義形式で指導できる。
- ・理解度確認のために学習管理システムによる理解度テスト実施も可能。学習状況のログも取れる。
- ・Web会議システム利用料、学習管理システム初期導入費、システム利用料、通信費等が補助対象。
(機材調達・環境等整備費)

Web会議システム+学習管理システムによる遠隔化

現地で売れる新商品を
考えてみましょう。



業務フロー理
解度テストの
配信/採点



こんなアイデア
はどうでしょう。

そもそも開発フ
ローとはそうなっ
ているんですね。